

スポーツ脳震盪評価ツール2 (SCAT 2)

1. 以下の兆候および症状が一つ以上見られたら、脳震盪の可能性がある。

意識消失

めまい

元気がない

怒りっぽい

痙攣

視力障害

精神錯乱

気分が沈む

記憶喪失

倦怠感

眠気

イライラする

頭痛

気分不良

感情的になる

不安

頭の圧迫感

集中できない

バランス障害

頸部痛

覚えられない

光に対して過敏

吐き気、嘔吐

けだるい

雑音に関して過敏

スポーツ脳震盪評価ツール2 (SCAT 2)

2. 以下の質問に全て答えられない場合、脳震盪の可能性がある。

今日はどこのグラウンドにいますか？

今は前半、後半のどちらですか？

この試合で最後に得点したのは誰ですか？

先週/前回の対戦相手はどこでしたか？

前回の試合は勝ちましたか？

スポーツ脳震盪評価ツール2 (SCAT 2)

3. タンデムスタンスを20秒間観察し、5回以上失敗したら脳震盪の可能性がある。



腰から手を離してしまう。

目を開けてしまう。

前脚、または踵を浮かしてしまう。

足を動かしてしまう。

よろめく。

倒れる。

5秒以上最初と違う姿勢のままている。

スポーツ脳震盪評価ツール2 (SCAT 2)

4. 脳震盪の疑いがあると判断された場合

ただちにプレイから外れる。

早急に医師の診断を受ける。

一人にならない。

自動車を運転してはいけない。

脳震盪を繰り返すことによる影響

Post Concussion Syndrome

脳震盪を繰り返すことにより 脳震盪症状が慢性的に持続する。

Second Impact Syndrome

完全に回復しない状態で、多くは1週間以内に再度頭部に外傷が加わることにより、

致命的な脳浮腫を生じ、短時間で死に至る。